

地方創生

シリーズ①

問総務企画課 企画係
☎52-5803

■日本全体の状況

日本は、平成20年をピークとして人口減少局面に入っています。45年後には8700万人程度となり、85年後には5000万人を割り込む人口推計があります。若い世代が地方から大都市部へ流出し、大都市部は出生率が極めて低いため、日本全体としての少子化、人口減少につながっています。「地方の人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させる」という負のスパイラル（悪循環の連鎖）に陥るリスクが高まっています。地方が弱体化すれば、地方からの人材流入が続いてきた大都市もいずれ衰退していきます。

■まち・ひと・しごと創生

都市部には、仕事などの条件がかなえば地方への移住を希望する人が約4割いるとの調査結果があります。

地方に「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」を呼びこむ好循環を確立することで、地方への新たな人の流れを生み出し、この好循環を支える「まち」に活力を取り戻し、人々が安心して生活を営み、子どもを産み育てられる社会環境をつくり出すことが急務となっています。

国は、日本全体の人口将来展望を示す「長期ビジョン」を踏まえ、今後5か年の「総合戦略」を策定し、地方と連携して地方創生に取り組んでいます。

■四つの基本目標

総合戦略には、次の4つの基本目標を設定しています。

- ① 地方における安定した雇用を創出する
- ② 地方への新しいひとの流れをつくる
- ③ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する

■田布施町総合戦略を策定中

田布施町では、産官学金労言の代表者に公募委員を加え、30人の委員で総合戦略策定の協議を行っています。

今回は田布施町人口ビジョンについてお知らせします。

▼我が国の人口の推移と長期的な見直し

